

【第1号議案】

令和4年度事業報告

【事業概要】

3月末での会員数は1,239名となり、昨年度末を若干下回る結果となりました。それでも全国的に会員数が激減している状況下で、当センターは下げ幅が少なく、退会抑制が効いているものと思われま

す。年度末でまとめた年間事業実績は、前年度対比で請負委任の合計額が若干マイナスとなりましたが、派遣に関しては11.8%上回りました。企業団体への仕事の棚卸、切り出しを提案しマッチングを強化した結果です。

事業計画の重点事項にも掲げていたICTの利活用、DXの推進を実現するため、俗人化していた事務作業をRPA（パソコン内のロボットが代わりに作業を行う仕組み）に切り替えたり、会員へのメッセージや就業情報を郵送や電話からLINEやメールでの配信に切り替えるなど、デジタル化に力を入れ、生産性の向上に努めました。

昨年度立ち上げた「衛生委員会」や「安全衛生部会」の的確な指導と職群班長、安全担当会員の活躍により事故の件数が大幅に減少し、6月に行われた全国シルバー人材センター事業協会の総会時、安全表彰（優秀賞）を受賞することが出来ました。また、生涯現役活躍推進事業と連携した脳トレ教室やフレイル予防セミナーなど会員の健康管理に関する取り組みにも力を入れました。

ワークプラザ柏崎は、多目的ホールが改修工事のため半年にわたり利用できないことから収入は落ちましたが、その分他の部屋が稼働率を上げ、利用件数、利用人数については昨年度を上回る成果を出しています。

生涯現役活躍支援事業は、2年目になり、スマホやタブレットを使いこなせるようになるための講習会などを数多く開催し、概ね今年度の目標値をクリアしています。本事業の要「ジョブセレクトアプリ」への登録も順調で期待通りの動きが出ています。

1 登録会員（年度末） 1,239人 （男682人 女557人）
男女比 男55.0% 女45.0%

2 事業実績

(1) 請負・委任 受注件数（新規） 7,619件（3,779） 昨年度比
(2) 請負・委任 就業延人員 76,886人日 3.5%減

(3) 請負・委任 配分金合計額			
	279,040,632円		0.9%減
(4) 請負・委任 受託金額			
	363,928,105円		1.5%増
内 訳			構 成 比
公 共	100,998,995円		27.8%
民間企業	151,053,383円		41.5%
一般家庭	68,701,176円		18.9%
独自事業	10,197,281円		2.8%
介護保険	32,977,270円		9.1%
(5) 一般労働者派遣事業			
受注実件数	140件		昨年度比
契約金額	106,914,730円		11.8%増
(6) 請負・委任 職群別構成比			
管理的職業	0.0%	専門的技術的職業	0.0%
事務的職業	0.6%	販売の職業	2.5%
サービスの職業	40.4%	保安の職業	0.0%
農林漁業の職業	10.2%	生産工程の職業	1.8%
輸送機械運転の職業	0.0%	建設採掘の職業	0.2%
運搬清掃包装等の職業	44.3%		
(7) 請負・委任・派遣 年間就業率	75.4%	(昨年度	78.4%)
特別会員93名を除いた就業率	81.5%	(昨年度	84.5%)
請負・委任のみ 年間就業率	65.5%	(昨年度	66.7%)

【部会報告】

企画推進部会

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス禍において活動できる行事のみ催行しました。部会としての活動範囲が狭まる中で、取り組んできた内容について、次のとおり報告します。

1 会員研修会

事務局と検討の上、中止しました。

2 会員研修旅行

企画推進部会での検討の結果、バス旅行は3密の最たるものであることから中止しました。

3 普及啓発活動

- (1) 10月の促進月間としての「クリーン作戦」(清掃奉仕活動)は、屋外活動ということから実施しました。実施は各地区の判断で行われ、令和4年10月15日(土)9地区109名の会員の皆様から参加していただきました。
- (2) PR活動の一環として、令和4年10月29日(土)、30日(日)柏崎市老人クラブ連合会主催のシニア作品展・じまん展に柏崎市シルバー人材センターのコーナーを設け、女性活躍部会と合同で来場者にリーフレット配布やジョブセレクトアプリ登録の声掛けを実施しました。また、会員の活動写真や女性会員の手作り作品の展示を行い、活動を紹介しました。

4 会員忘年会

昨年度に引き続き、飲食を伴う大人数での行事であることから中止しました。

5 趣味を楽しむサークル作り

令和3年度に「ボウリング同好会」を立ち上げましたが、本格的な活動はコロナウイルス感染症の蔓延から引き続き活動休止となりました。

広聴広報部会

令和4年6月17日の定時総会で確認された事業計画に基づき、今年度のテーマとして四項目を重点に掲げ、活動した結果を報告致します。

1 広報誌『シルバーだより柏崎』の編集発行

積極的に現場に出向き、会員の声が集められる写真を多く取り入れ、出来るだけ見やすい工夫をして編集しました。

＊第124号 令和4年9月15日発行(8頁)

＊第125号 令和5年4月15日発行(12頁)

「野菜作りのコツ」コーナーを初掲載

2 メディアの活用(情報の収集及び発信)

『生涯現役促進地域連携事業』を柏崎市シルバーの役員・事務局・会員が一丸となって取組・遂行するため、『シルバーだより柏崎』等による広報活動を実施しました。

ポイントカード(会員証)の利用促進をPR、フレンドショップの活用、FMピッカラによる放送、漫画パンフレットの作成等を行いました。

柏崎市シルバーの活動について、インスタグラムによる情報発信を開始し、『シルバーだより柏崎』等による広報活動を実施しました。

3 周知活動(イベントチラシの作成)

フレンドショップの活用・拡大、各種行事の案内

4 入会案内資料等のPR

オンライン入会の利用促進として、『シルバーだより柏崎』の表紙にホームページの二次元コードを掲載しました。

女性活躍部会

1 女性会員拡大

女性会員入会促進の一環として、ポスター・リーフレットを市内公共施設（23か所）やコミュニティセンター（27か所）等に設置させてもらいました。

また、企画推進部会と合同でシニア作品・じまん展（老人クラブと共催）でのシルバー人材センター展示コーナーに、手芸作品等展示品の協力をしました。

2 干支づくり講習会等の実施

シルバーふれあいサロン「やまゆり」の新たな販売品になるよう講習会を開き、講師指導のもと参加した女性会員が樹脂粘土で作成する干支づくりを体験しました。

また、手芸の会参加者に呼びかけ、布製の干支を作成し、やまゆりで販売しました。

女性会員同士のつながりを深めるため、市内の語り部の会による民話を聴いたり、「海の柏崎」を踊りました。また、グループで意見交換会を行い、笑いの絶えない心温まる時間を過ごし、会員相互の親睦を深めることができました。

安全衛生部

令和4年度は「マナーの徹底と作業ルールを守って事故ゼロを目指す」をテーマとして、職群班班長や安全担当会員だけでなく全会員が安全や就業マナーに対する高い意識を持つよう取り組みを行ってきました。

今年度の事故報告として、傷害事故1件、賠償事故5件、労災3件が発生しました。昨年比1件増加という結果になりました。昨年に引き続き、清掃作業やヘルパー業務での賠償事故が増加の傾向にあります。危険な作業かどうかにかかわらず、仕事をする前には現場の事前確認を行い、事故につながる要因を確認、排除してから従事するように啓蒙活動を行っていきます。令和5年3月に職群班長安全研修会を行いました。令和4年度の安全パトロールの総評として、班長の安全意識は上昇傾向にあるとの報告がありました。現場の事前確認、危険予知をしっかりと行い、朝礼時メンバーに周知を行う流れを引き続き徹底をお願いします。

令和4年度の主な活動内容は以下の通りです。

- 1 安全目標の掲示、周知
- 2 安全掲示板の設置
- 3 シルバー5S運動の周知
- 4 職群班ごとに安全担当会員を選出
- 5 作業前朝礼時、「声だし運動シート」による安全唱和の実施

- 6 「安全・適正就業ミーティングチェックシート」を活用し作業前点検の実施
- 7 安全パトロールの実施
- 8 安全就業達成証及び安全マークの発行
- 9 安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- 10 安全就業シールの配布
- 11 「作業中」と表示した看板を屋外作業班に配布
- 12 ヒヤリハット事案を募集
- 13 連合会主催の「安全・適正就業研修会」へ参加
- 14 機械除草取扱会員へ安全講習会の様子を動画配信
- 15 機械除草班を対象とした「飛散防護ネット使用の実地研修会」を実施
- 16 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- 17 作業現場に同行しての安全指導を実施
- 18 救急箱の点検、補充
- 19 「刈払機取扱作業員」に関する安全衛生教育の未受講者に取扱安全講習会を実施
- 20 家族への就業先明確化の徹底
- 21 事故等取扱基準（ペナルティ制度）の適用

このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。